

令和6年11月25日

令和6年度 第2回 大阪市立野中小学校園 学校協議会 実施報告書

校 園 名 野中小学校

校 園 長 名 打川 和美

日 時		令和6年11月15日（日） 18:00～19:00	
場 所		野中小学校 3階 図書室	
出席者	委員 など	小澤 明（会長） 春本 良子（委員） 辻川 松子（委員） 藤村 卓樹（委員） 石田 雅明（委員） 新田 歩美（委員）	
	校 園	打川 和美（学校長） 金子 俊彦（教頭）	
	区役所	南野 昌也（生活支援担当課長）	
議 題		(1) 開会の言葉 (2) 会の成立 (3) 区役所より連絡 (4) 全国学力・学習状況調査の結果分析について (5) 運営に関する計画について（中間報告） (6) その他 (7) 閉会のあいさつ	
協議 要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○開会の言葉	
	(2)	○会の成立の確認。 委員5名中5名出席。	
	(3)	○区役所よりお知らせ。	
	(4)	<p>全国学力学習状況調査の結果分析について報告。（別紙参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科では、昨年度の課題としていた「書くこと」で改善が見られ、大阪市平均を上回った。淀川区の支援等により行っている漢字検定の取り組みが功を奏したと考えられる。 ・算数科では、「データの活用」等において課題が見られた。今後も習熟度別学習に力を入れ、個別最適な学習を進めていきながら、ペアやグループでの意見交流を進め、考えを深められるようにしたい。 ・児童質問紙において、「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に 	<p>○タブレット等を長時間使うことで斜視になるというニュースを聞いた。使用時間が長時間になりやすいので、健康面に注意して使うようにしてほしい。学校は、眼科検診があるから斜視には気づきやすい環境にある。ICTの活用は進めていかないといけないところだと思うので、間に定期的に休憩を入れながら使うようにしてほしい。また、ゲームを夜長くすることでの生活習慣の乱れが懸念される。</p>

		<p>対して肯定的に回答する児童が75.5%で改善傾向にある。テスト時間に余裕がある児童の割合が大阪市平均より多いので、じっくり問題に取り組むようにすることで正答率を上げられると考える。1日当たりの携帯等を使ったゲームをする時間が長い傾向がある。</p>	
	(5)	<p>令和6年度運営に関する計画 中間報告について報告し、承認が得られた。(別紙参照)</p> <p>○「安心・安全な教育の推進」についての2つの取り組み「安心・安全な教育環境の実現」「豊かな心の育成」と、それぞれの進捗状況の説明を行った。</p> <p>取組内容①②については予定通り進んでいる。</p> <p>○「未来を切り拓く学力・体力の向上」についての2つの取り組み「誰一人残さない学力の向上」「健やかな体の育成」と、それぞれの進捗状況の説明を行った。</p> <p>取組内容①②については予定通り進んでいる。</p> <p>○「学びを支える教育環境の充実」についての3つの取り組み「教育DX」「生涯学習の支援」「家庭・地域等との連携・協同した教育の推進」と、それぞれの進捗状況の説明を行った。</p> <p>取組内容①②については予定通り進んでいる。</p>	<p>○運動会の時に、来賓受付をPTAで行っているが、今年度は急に不審者が入らないように見てほしいと話があった。PTAは警備員ではないので、児童の安全を守るために区役所の方で警備員を雇い、配置してもらうことはできないか。</p> <p>・先日、警察の方が野中小学校の防犯の安全性を見に来た。教室一つ一つにさすまたがあることや、防犯カメラがあることなど安全面については大きな問題はないと言われた。</p> <p>○誰かがやってくれるのを待つのではなく、地域にいるそれぞれの人が意識することが大事。コミュニティを作っていくことが安全な町を作ることになる。通常の日と行事のある日を分けて考えるべきである。行事实施時の安全対策については、ガードマンの雇用等淀川区に相談していく。</p>
	(6)	その他	
	(7)	○閉会の言葉	
協議資料		<p>○令和6年度 大阪市立野中小学校 第2回学校協議会次第</p> <p>○令和6年度 運営に関する計画（中間報告）</p> <p>○全国学力・学習状況調査の結果</p> <p>○学校生活アンケート（前期）結果</p>	
備考		<p>傍聴者[0]名</p>	